

---

## 光赤外線天文学演習Ⅱ Optical/Infrared Astronomy Seminar Ⅱ

科目コード(Course Number) 20DASa11  
物理科学研究科 School of Physical Sciences 天文科学専攻 Department of  
Astronomical Science 光赤外線天文学 Infrared Astronomy  
学年(Recommended Grade) 3年 4年 5年  
2単位(credit) 通年 all year  
竹田 洋一 (TAKEDA Yoichi)

---

### 【授業の概要 Outline】

専攻の教育目標を達成するため講義等を履修することと並んで、近接研究分野の教員、PD、大学院生等と議論し、研究動向を把握し、自らの研究の立ち位置を確認することが重要である。本演習は、恒星の高分散分光観測を主な手法として用いる恒星物理学、系外惑星天文学、銀河考古学などの分野の研究者・学生が集まって行われている研究発表会（HDSセミナー）に参加し、所定の学修をした1年次、2年次院生に対して専攻専門科目（演習）としてその履修を認定するものである。

### 【到達目標 Aim】

外来研究者、内部研究者の研究発表に参加し科学的議論を行うことで、恒星・惑星科学や銀河系天文学における研究の動向を大きくつかみ、自らの研究の位置づけを明確に示すことができるようになること。自らの研究を広く研究分野の異なる研究者に理解させ、科学的議論を行うことができるようになること。

### 【成績評価 Grading criteria】

セミナーになるべく（60%以上が目安）出席して議論にも積極的に参加し、少なくとも一年に一回は自分の発表を行うことが合格の基準となる（成績は「P合格」もしくは「F不合格」の二択の判定とする）。

### 【授業計画 Lecture plan】

HDSセミナーは木曜日の15時40分～17時に行っている。ただスピーカーの都合による日時の変更やゲスト来訪による臨時の開催なども時折あるので、ゼミの最新情報が回覧されるHDSメーリングリストに加入しておくのが望ましい。

### 【実施場所 Location】

国立天文台すばる棟2階の会議室で行う。また毎回外部とTV会議で接続している。

### 【使用言語 Language】

基本的に日本語で行うが、外国人が参加する場合は英語を用いる。

### 【教科書・参考図書 Textbooks and references】

なし

### 【関連URL Related URL】

URL:

【上記URLの説明 Explanatory Note on above URL】

【備考・キーワード Others/Keyword】